

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	平成 31 年 2 月 26 日 (火) 午後 3 時 40 分
閉会日	平成 31 年 2 月 26 日 (火) 午後 3 時 58 分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員 長 青山直道 副委員 長 岡崎つよし 委 員 伊藤祐司 上田 大 大島令子 加藤和男 木村さゆり ささせ順子 さとうゆみ 佐野尚人 じんの和子 田崎あきひさ なかじま和代 林 みすず 山田かずひこ 山田けんたろう 吉田ひでき
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 青山 均 同次長兼財政課長 浦川 正 課長補佐(財政担当) 嗟峨 剛 行政課長 飯島 淳 <p style="text-align: right;">計 5名</p>
職務のため出席した者の職氏名	議長 川合保生 議会事務局長 福岡隆也 主任 飯田純子
会議録	別紙のとおり

別紙

事務局長 委員長が選出されるまでは年長の委員が臨時に委員長の職を努めるため、じんの委員に臨時委員長をお願いする。

臨時委員長 開会宣言
議長 あいさつ

委員長選挙

臨時委員長 委員長の選挙は指名推選とし、臨時委員長が指名してよいか。
<異議なし>

臨時委員長 異議なしと認める。委員長には青山委員を指名する。ただいま指名した委員を委員長の当選人と認めてよいか。
<異議なし>

臨時委員長 異議なしと認める。委員長が選出されたため交代する。

副委員長選挙

委員長 副委員長の選挙は指名推選とし、委員長が指名してよいか。
<異議なし>

委員長 異議なしと認める。副委員長には岡崎委員を指名する。ただいま指名した委員を副委員長の当選人と認めてよいか。
<異議なし>

委員長 異議なしと認める。

市長 あいさつ

委員長 議案審査のため総務分科会、教育福祉分科会、くらし建設分科会を設置する。本委員会では一般会計に係る議案のみ説明を受ける。

財政課長 まず、議案第1号について財政課長より概要説明を求める。
平成31年度一般会計当初予算案は201億1,000万円であり、平成30年度当初予算と比較すると10億5,000万円（約5.5パーセント）の増加である。主な要因は、幼児教育・保育無償化への対応や児童福祉施設整備の増加により民生費が対前年度比10億7,596万5,000円（約13.4パーセント）増加したこと、公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計において平成35年度の事業完了を見据え、事業費を操出金で対応したことにより土木費が対前年度

比 4 億 3,765 万 4,000 円 (約 22 パーセント) 増加したことである。

歳入は、法人市民税の増加等により対前年度比 9,301 万 5,000 円 (0.8 パーセント) の増加を見込んだ。依存財源である国庫支出金や県支出金は、幼児教育・保育無償化により補助対象となる社会保障関係の支出が増加すること、社会資本整備総合交付金の対象となる支出が増加すること等により、対前年度比 3 億 1,068 万円 (約 9.4 パーセント) の増加を見込んだ。繰入金は、公園西駅周辺土地区画整理事業に係る保留地処分金が大幅に増加し、事業認可を受けた土地区画整理事業費に充当し、発生する余剰金を一般会計に繰入れるため、対前年度比 4 億 5,446 万円 (約 74.9 パーセント) の増加を見込んだ。一方で負担金は幼児教育・保育無償化による保育園運営費保護者負担金の減少により、対前年度比 9,736 万 7,000 円 (約 25.8 パーセント) の減少を見込んだ。なお、世代間の公平性や財源確保のため、上郷保育園等整備事業はじめ 8 件の事業に対し、総額 10 億 9,320 万円の地方債の借入れを行う。

委員長

次に、議案第 9 号について財政課長より説明を求める。

財政課長

既定の歳入歳出予算総額から、歳入歳出それぞれ 3 億 5,000 万 2,000 円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 205 億 6,954 万 1,000 円とする。歳入は地方消費税交付金、繰越金、地方特例交付金等の増額及び市債、諸収入等の減額、歳出は総務費の増額及び土木費、教育費、民生費等の減額である。

また、既定の北小学校校舎増築事業の継続費を変更し、(仮称)北児童館整備事業の継続費を廃止する。市が洞保育園・児童館指定管理料及び小中学校増級用コンピューター賃借料にて債務負担行為を追加し、橋梁長寿命化等修繕事業債及び新設歩道設置事業債を変更する。なお、リノモテラス整備事業、上郷保育園改築事業及び文化財古民家補修事業の 1 億 185 万 8,000 円を平成 31 年度に繰り越すため、繰越明許を設定する。

歳入の詳細について、個人市民税は、高額給与所得者の増加により平成 29 年度増額補正し、平成 30 年度も好調予測をしたが、それほど伸びなかったため 1 億 3,254 万 6,000 円減額した。法人市民税は、市内主要法人の業績回復傾向等を受け 8,550 万 6,000 円増額した。利子割交付金をはじめとする各交付金は、歳入実績に基づく増額もしくは減額である。

歳出予算は全体として執行残及び請負残等による減額、人事異

動または育児休業、時間外勤務の減少に伴う人件費の減額である。

2款1項2目「基金積立金」は、平成30年12月末までのふるさと寄付金等147万6,000円を含む1億1,970万5,000円を公共施設等整備基金に、1億円を土地開発基金に積立てる。「庁舎管理整備事業」は、長久手消防署に区画整理課の事務室を借用している負担金60万円の計上である。「ふるさと寄付金推進事業」46万6,000円は、ふるさと寄付金を活用した社会福祉法人日本介助犬協会の訓練室改修事業に集まった金額93万2,000円の50パーセントを補助金として交付するために計上した。

3款3項2目「生活保護事業」は、生活保護扶助費を3月までの決算見込みから当初予算に対し93万1,000円増額した。

7款1項1目「土木事務事業」は、公有財産購入費として土地開発基金で購入した香流川内民地の買戻し分212万8,000円を計上した。

7款2項2目「道路改良事業」の「公有財産購入費」及び「補償、補填及び賠償金」は、いずれも土地開発基金で購入したものの買戻し分として計上した。

委員長 本委員会に付託された議案13件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

<異議なし>

委員長 閉会宣言

午後3時58分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

平成31年2月26日

予算決算委員会委員長 青山直道